

層

六年 回数 14
筆順 尸 屈 層
フン オン ソウ

成り立ち



「屋根」の意味の「尸」と、「積み重ねられた」蒸し器（せいろう）の形を表した「層」とを組み合わせて作った字です。

「屋根をいく重にも積み重ねた建物（高層建築）」のことを表した字です。「高層建築の家」のことを表した字ですが、今では、単に「重なる」、または「重なり」という意味に使われます。例層雲、高層、上層、階層、地層。また、「階層」や「地層」の意味にも使われます。例上層、中堅層、若年層、断層、表層。

使い方

▽今では各地に高層建築ができましたが、昔は背の低い建物しかありませんでした。建築技術の進歩によって、これらの高層ビルが建てられるようになったのです。

▽近頃は、若年層にも成人病が広まって来ました。栄養や運動に注意して、成人病を防がなければなりません。

熟語例

▽層雲（重なりあつた雲）

▽高層（階をいく重にも積み重ねること。また、上空の高い所の意味にもつかえます。「高層雲」などが、それです。）

▽上層（積み重なったものの上の方。また、階級の上の方の意味にもつかえます。「上層階級の人々」など）

▽階層（階の重なり。とくに、社会を構成している色々なグループの重なりを言います。）

▽中堅層（その社会で中心となるグループ）

▽若年層（年が若い人のグループ）

▽断層（地層が切れて食い違っている所。また、社会における「物事の食い違い」の意味にも使います。例「世代の断層」など）

使い方

▽ぼくは大きくなったら飛行機の操縦を習いたいと思います。大空を自由に飛べたら、すてきだろうなあと思っています。

▽わたしは節操のない人はきらいです。さつきは仲良くしていたかと思うと、陰へまわって悪口を言う、などという人は、節操がないのです。そういう人は、本当の友だちではありません。

熟語例

▽操作（機械や道具などを操ること。また、広く何かを操ること。）

▽操縦（人や機械などを操ること。とくに、飛行機を操縦すること。）

▽操業（工場などで、機械を操って作業をすること。）

▽体操（手や足を操って、健康のためにする運動）

▽情操（美しいものや良いものに出会った時、感動したり共感したりする心の働き）

▽節操（正しいと思うことを守る心）

▽貞操（女の人が守らなければならない正しい態度。操のこと。）

操

六年 回数 16
筆順 扌 扌 扌 扌 扌 扌
フン オン ソウ
あやつ いる・みさお

成り立ち



「木の上で、小鳥が『さわがしく』鳴く」ことを表した「梟（おが）（噪しいの本字）」と、「手」とを組み合わせて作った字です。

「手を『あわただしく』うごかす」ことを表した字です。「手をうまく『あやつる』」という意味に使われます。

例操作、操縦、操業、体操。

「心をうごかす」こと、「心をあやつる」ことの意味にも使われます。例情操、節操、貞操。

また、「貞操」の意味で「みさお」という意味に使われるようになりました。